

疾病罹患状況等調査について

健康影響 ワーキンググループ(WG)

健康WGに求められること 「検証課題に基づく健康調査」

第一種健康診断特例区域等の検証に関する検討会

報告 検証課題	1. 背景・目的	<ul style="list-style-type: none">✓ <u>これまで蓄積されてきたデータを最大限活用</u>✓ <u>最新の科学技術の活用も含めた新たな調査を追加的に行う</u>✓ <u>可能な限りの検証を新たに行い、</u>✓ <u>それらの検証の進捗・成果を踏まえ、第1種健康診断特例区域の在り方等について意見を集約する</u>
	2. これまでの意見	<p>健康影響調査について</p> <ul style="list-style-type: none">✓ <u>交絡要因等の影響を除外できるように研究計画（コホートの選び方、その数、対照の選び方、交絡因子の扱い等）をしっかりと企画・立案して実践すべき</u>✓ <u>院内がん登録を積極的に活用すべき</u>✓ <u>地域のがんの罹患状況だけではなく全国との比較も必要</u>✓ <u>内部被曝に関する放射線医学の科学的知見も踏まえて検討すべき</u>
	3. 今後の進め方	<p>健康影響が生じているか確認する課題（健康影響WGにおける検証課題） 相談支援事業受診者の疾患罹患状況等の調査</p> <ul style="list-style-type: none">✓ <u>選定された調査実施主体において、広島県・市の協力を得つつ、実現可能な調査方法を検討し、必要な手続きを踏まえて、事業利用者に対する疾病罹患状況調査を実施する。</u>✓ <u>調査の実施、解析、報告にあたっては、放射線医学、統計、がん登録の専門家などからなる健康影響WGの体制を速やかに構築し、これまで検討会において出された意見も踏まえて調査を行う。</u>

「第一種健康診断特例区域等の検証に関するこれまでの議論の経過及び今後の方向性について」より抜粋、一部改変

健康影響WG(検証課題:健康影響が生じているか確認する課題)

今後の進め方に基づき、各専門家からなる健康影響WGが発足し、広島県・市の協力を得つつ、下記の調査について実施準備。

- (1) 質問紙調査・電話調査に基づく健康状態調査
- (2) その他の検討（がん登録など）

健康影響WG設置以降の経緯

健康影響WGメンバー

健康影響WG

長崎大学 高村昇
福島県立医科大学 前田正治
埼玉県立大学 大木いずみ
岡山大学 坂本亘
◎ 国立保健医療科学院 高橋秀人

※放射線医学、統計、がん登録の専門家などから構成

※調査については岡山大学が受託

WG設置以降の経緯

○8月31日:第1回WG

- ・経緯の説明
- ・研究の進め方骨子についての議論

○9月～:広島県・市との打ち合わせ

- ・第1回WGでの議論を踏まえ、広島県市との協力連携の検討。

○10月25日:第2回WG

- ・研究の具体的な調査内容及ぶ調査の進め方についての議論

○12月16日:第3回WG

- ・研究の進捗と今年度の報告書について
- ・倫理申請について

○3月10日:第4回WG

- ・今までの経緯・現状報告・来年度について

研究概要(対象者と調査項目)

(1) 質問紙調査・電話調査に基づく健康状態調査



i) 対象者:「黒い雨相談事業利用者」+「広島H20原爆体験者等健康意識調査参加者」から対象者を設定

1) 質問紙調査(疾患調査)

- うつ、PTSD関連の有無等
- ◆放射線に関する疾患の有無等



2) 電話調査(同意をいただいた方)

- 半構造化調査

(2) 他のアプローチ

がん登録からのアプローチ等

対象者(相談事業より)

健康不安相談の対象となる方

次の4つに、全てあてはまる方

- ◆ 現在、広島県内にお住まいの方
- ◆ 被爆者健康手帳又は第一種健康診断受診者証の交付を受けていない方
- ◆ 広島県・広島市等が被爆地域の拡大を求めている以下の地域内において、原爆投下直後に黒い雨を体験した方
- ◆ 現在、健康に不安をお持ちの方

健康不安相談の対象となる地域



<https://www.city.hiroshima.lg.jp/uploaded/attachment/139357.pdf>

一部改変

R4年度の研究実施の今後の予定

○5月～10月 質問紙調査の実施

- 広島県市と協力の上、調査対象者に説明文書及び調査表を配布
- 研究協力に関する同意が得られた者から、質問紙を回収

○7月～12月 電話調査の実施

- 電話調査への協力が得られた者に対し電話調査を実施

○10月～1月 収集したデータの精査・解析

- 質問紙調査及び電話調査で得られたデータを順次精査
- すべてのデータ精査が終わった後に統計解析

○2月～3月 検証結果のとりまとめ

- 上記の調査結果や広島赤十字・原爆病院におけるカルテ調査等の結果も含め、検証結果を最終的にとりまとめ